

朝霞市における一般廃棄物処理の概要

1 既存処理施設の概要

施設名称	朝霞市クリーンセンター
施設所管	朝霞市
所在地	埼玉県朝霞市大字浜崎 390-45
面積	敷地面積 13,706 m ²

(1) ごみ焼却施設

面積	延床面積 3,094 m ² 建築面積 1,492 m ²
施設規模	120 t / 日 (60t/24h×2 炉) (平成 9 年 6 月より準連運転から全連運転に移行)
建設年度 着工 竣工(稼動)	平成 4 年 10 月 平成 6 年 12 月
主灰・飛灰 着工 無害化装置 竣工(稼動)	平成 10 年 6 月 平成 10 年 7 月
設計・施工メーカー	日立造船株式会社
施設建設費	4,500,000 千円 (用地費・併設施設除く)
処理方式	
受入・供給設備	ピット アンド クレーン式 ごみピット容量：1,200 m ³ ごみクレーン：2 基 (1.2t 吊バケット×2 基) (全自動・半自動及び手動遠隔操作)
燃焼・溶融設備	全連続燃焼式焼却炉 (ストーカ式)
燃焼ガス冷却設備	水噴射式
排ガス処理設備	ろ過式集じん器
乾式有害ガス除去装置	HCl、SO _x 除去：消石灰(乾式)噴射方式 NO _x 除去：触媒脱硝方式
排水処理設備	ごみピット汚水 : 炉内吹込みによる酸化分解 その他有機系排水 : - 無機系排水 : 凝集沈殿処理後場内循環利用
余熱利用設備	-
通風設備	平衡通風式
灰出し設備	ピット アンド クレーン式 じん灰：セメント及び薬液固化装置 灰ピット容量：97 m ³ 灰クレーン：1 基 (0.7t 吊バケット×1 基) (半自動及び手動遠隔操作)

(2) 粗大ごみ処理施設

面積	延床面積 461 m ² 建築面積 324 m ²
施設規模	30 t / 日 (30t/5h)
建設年度 着工 竣工(稼動)	平成 59 年 1 月 平成 59 年 8 月
設計・施工メーカー	クボタ鉄工株式会社
施設建設費	250,000 千円 (用地費・併設施設除く)
処理方式 処理対象 選別種類	堅型回転式破砕機 不燃ごみ、粗大ごみ 3 種類選別 (可燃物、不燃物、磁生物)

(3) 空き缶資源化施設

面積	延床面積 131 m ² 建築面積 131 m ²
施設規模	5 t / 日 (5t/5h)
建設年度 着工 竣工(稼動)	平成 8 年 12 月 平成 9 年 3 月
設計・施工メーカー	日本エンバイロメント株式会社
施設建設費	35,000 千円 (用地費・併設施設除く)
処理方式 処理対象 選別種類	磁選機、アルミ選別機、圧縮機 資源ごみ (缶類) アルミ、スチール

(4) プラスチック類処理施設

面積	延床面積 1,087 m ² 建築面積 865 m ²
施設規模	13.2 t / 日 ペットボトルライン : 2.9 t / 5h プラスチック資源ごみライン : 10.3 t / 5h
建設年度 着工 竣工(稼動)	平成 20 年 1 月 平成 21 年 3 月
設計・施工メーカー	新明和工業株式会社
施設建設費	350,000 千円 (用地費・併設施設除く)
処理方式 処理対象 選別種類	破袋・選別、圧縮 資源ごみ (ペットボトル、プラスチック類) ペットボトル、プラスチック

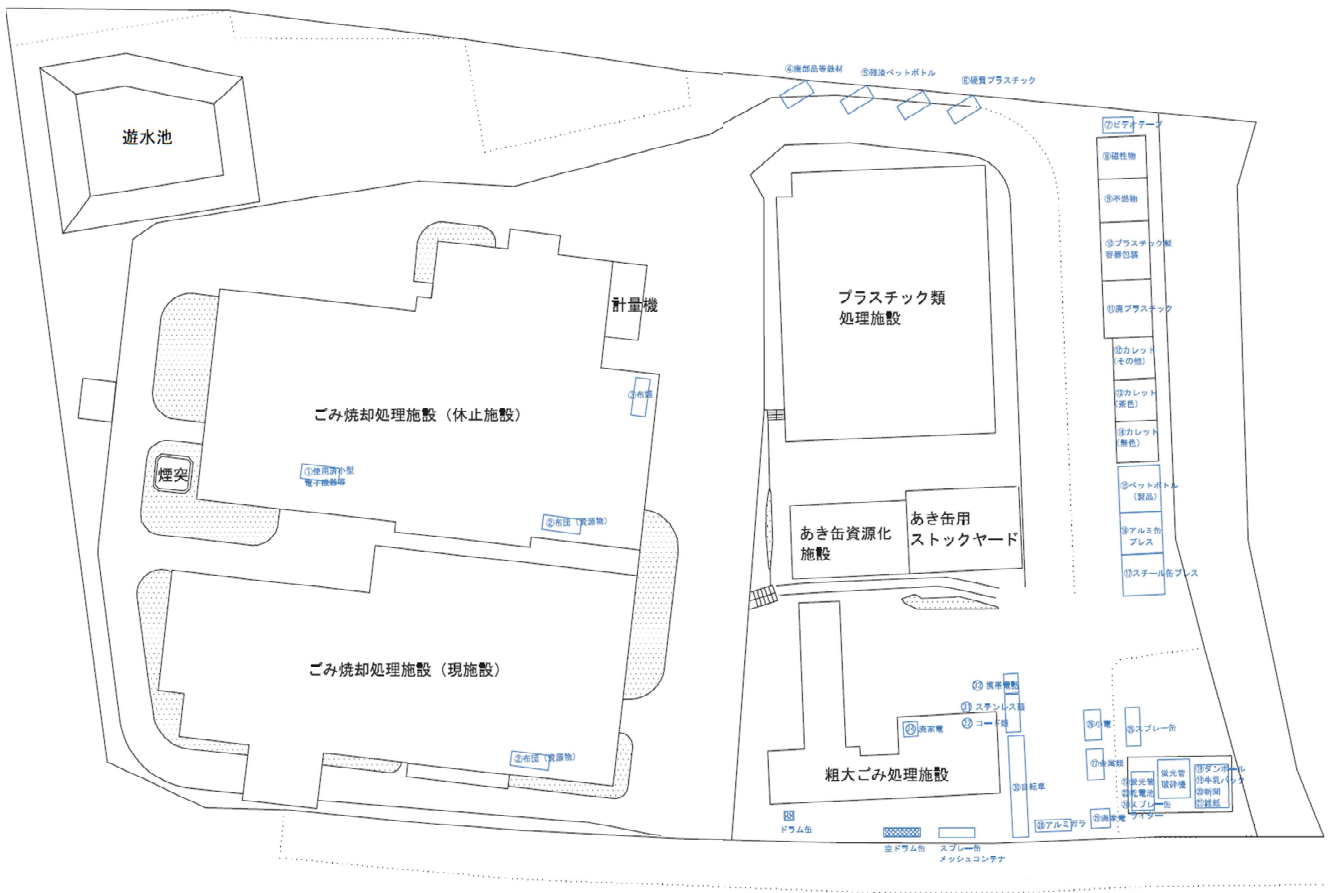
(5) ストックヤード

面積	延床面積 - m ² 建築面積 268 m ²
貯留対象物	紙類、金属類、ガラス類、プラスチック
建設年度 着工 竣工(稼動)	平成 20 年 1 月 平成 21 年 3 月
設計・施工メーカー	株式会社宮林組
施設建設費	12,000 千円 (用地費・併設施設除く)

2 既存施設周辺図（広域）



3 敷地平面図



4 ごみ処理状況の推移

年度	人口 (人)	年間総排出 量 (t)	処理量内訳						1人当たり家庭ごみ排 出量 (g/日) ※
			家庭ごみ					事業ご み	
			可燃	不燃	粗大	資源	小計		
24	131,429	38,804	20,313	1,161	1,181	9,838	32,493	6,311	624
25	132,876	38,722	20,180	1,146	1,272	9,808	32,406	6,316	621
26	134,709	38,196	20,158	1,093	1,190	9,431	31,872	6,324	603
27	136,321	37,966	20,049	1,069	1,225	9,388	31,730	6,236	595
28	137,271	37,658	19,869	1,028	1,238	8,988	31,123	6,535	584
29	138,721	37,620	19,765	1,018	1,289	8,744	30,816	6,804	574

(注)総排出量 = 収集量 + 直接搬入量

人口は年度末現在

※1人当たり家庭ごみ排出量 = (家庭ごみ排出量 - 集団資源回収量) / 人口 / 365日

5 資源化状況の推移

年度	集団資 源回収 量 (t)	資源化量 (t)													再生利 用率 (%)
		新聞	雑紙	布類	ダン ボール	かん		ペッ トボ トル	紙 パッ ク	磁 性 物	びん	プラ ス チック 資 源	アル ミ ガラ	廃家 電・ 自転 車等	
						アル ミ	スチ ール								
24	2,434	1,050	1,279	416	961	194	187	331	4	517	1,025	2,469	7	395	35.3
25	2,291	1,066	1,380	447	982	195	187	339	3	494	1,023	2,211	8	410	35.2
26	2,207	916	1,319	442	990	200	168	339	5	458	1,018	2,309	8	464	34.7
27	2,055	855	1,369	500	1,026	206	162	358	2	490	1,031	2,454	6	284	34.8
28	1,850	811	1,270	480	1,042	210	144	373	2	442	991	2,425	8	330	34.2
29	1,739	764	1,216	465	1,075	205	141	349	1	446	990	2,518	8	336	34.3

(注)集団資源回収量 = リサイクル活動団体による紙類・布類・金属類・びん類の集団回収量

再生利用率 = (集団資源回収量 + 直接資源化量 + 中間処理後再生利用量) / 総排出量 × 100